

令和8年度

北海道教育大学大学院教育学研究科

大阪教育大学大学院学校教育学研究科

福岡教育大学大学院教育学研究科

共同学校教育学専攻

(後期3年のみの博士課程)

学 生 募 集 要 項

出願受付期間	令和7年10月27日(月)～ 令和7年11月7日(金) (消印有効)
選 拔 試 験 日	令和7年12月7日(日)
合格者発表日	令和7年12月19日(金)



〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学入試課

TEL 011-778-0652 FAX 011-778-8823 E-mail g-nyushi@j.hokkyodai.ac.jp



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学入試課

TEL 072-978-3322 FAX 072-978-3327 E-mail nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学入試課

TEL 0940-35-1235 FAX 0940-35-1703 E-mail nyushi@fukuoka-edu.ac.jp

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

共同学校教育学専攻（博士課程）は、北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学の3大学が共同して教育課程を構成している後期3年のみの博士課程であり、学校や教師が直面している様々な課題を解決するために、教育現場をフィールドとした臨床的研究に取り組むことのできる大学教員や、臨床的研究の知見を活かして課題解決を図ったり、高度な教員研修を遂行したりできる教員研修の専門家の養成を行うことを目的とする。

本共同専攻は、大学院修士課程、専門職学位課程、教育現場や教育行政、大学等で培った知見や能力に加え、臨床発達教育科学または臨床教科学の理論知をもとに、臨床的研究に基づく「学校教育学」を修得し、教員養成学の体系的な構築を志向する人材を求める。

【求める学生像】

1. 明確な研究テーマを持ち、多角的かつ総合的な視点から自立的な研究を行うことができる人
2. 教育現場をフィールドとした臨床的な研究を遂行する上で必要とされる専門的知識、倫理観、行動力、総合的な判断力を有する人
3. 教育現場をフィールドとした臨床的な研究を遂行する上で必要な資料や文献を読解できる基礎的な語学力を有する人
4. 教育現場をフィールドとした臨床的な研究を遂行する上で必要とされる様々な人々との交流を深め、協働して学ぶことができる人
5. 自らの課題意識に則して、教育現場をフィールドとした臨床的な研究の重要性や必要性を理解している人

【入学前に身に付けておくべきこと】

1. 研究テーマを遂行するための基礎となる専門的知識
2. 研究テーマを遂行する上で必要となる文献読解等に役立つ基礎的な語学力
3. 研究テーマに関する明確な課題意識と課題解決への情熱

【入学者選抜の基本方針】

教育現場をフィールドとした臨床的研究により、学校教育の課題を明らかにすると共に、その課題の解決に向けた処方箋を教育現場等に還元する「学校教育学」を修得して質の高い教員を養成する大学教員や教員研修の専門家になりうる学生を選抜する。

志望する研究分野に関する専門的知識や必要な語学力などを備えているか、臨床的研究の必要性を理解しているか等を総合的に判断するため、書類審査・筆記試験及び口述試験によって、知識・技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性・協働性をはかり、選抜する。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

共同学校教育学専攻（博士課程）では、学校教育が直面する諸課題に対応し得る能力並びに教員養成系の学士課程・教職大学院を含む大学院課程等における高度な教員養成、または教育委員会における教員研修等を遂行し得る能力を獲得する。

本専攻において、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けて作成した学位論文の審査並びに最終試験に合格し、臨床発達教育科学もしくは臨床教科学に関わる学校教育の諸課題についての研究を自立的、独創的に遂行する資質・能力を有すると認められた者に博士（教育学）の学位を授与する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

【教育課程編成の方針】

共同学校教育学専攻（博士課程）では、学校教育の臨床的研究に関する幅広い知識と深い理解に基づき、学校教育が直面する諸課題に対応し得る能力並びに教員養成系の学士課程・教職大学院を含む大学院課程等における高度な教員養成または教育委員会における教員研修等を遂行し得る能力を獲得し、我が国の教育課題解決と新しい時代の教育に寄与する質の高い教員を養成する大学教員や教員研修の専門家等を養成するために、以下のような教育課程を編成する。

- 学位論文に関連する個別の研究課題を探究することにより臨床的研究能力を培うための課題研究科目
- 学校教育及び教員養成に関わる諸課題についての理解を深めるとともに、学校教育に関する臨床的研究並びに教員養成に携わるために必要な知識とスキルを獲得させ、課題研究科目を方法論的側面から支える共通科目
- 臨床発達教育科学・臨床教科学における諸課題を把握し、その研究方法論を理解することにより、実践的諸課題を探究するために必要な先進的かつ多様な知見を獲得させ、課題研究科目を内容論的側面から支える分野科目

【教育内容・方法に関する方針】

- 課題研究科目では、個別の研究課題に関して演習と発表形式による授業を行う。
- 共通科目では、学校で生起する教育事象の臨床的研究に関する高度な研究法の習得、教員養成に関わる今日的課題と大学教員の職業としての専門性の理解のために、講義、演習等による授業を行う。
- 分野科目では、臨床発達教育科学の諸分野に関わる最先端科学の研究内容・方法論の習得、臨床教科学に関わる教科教育学と教科内容学を融合した形での内容論・教授方法論・教材開発の原理等の習得のために、講義、演習等による授業を行う。
- 学位論文の研究においては、3大学の連携による指導体制の中で進める。

【学修成果等の評価の方針】

- 学修成果の評価は、授業科目の目標を達成したことを確認するために、各授業の内容に応じて、筆記試験、口述試験、報告書等により、適切な評価の観点と方法を設定して行う。
- 最終試験の評価は、学位論文の研究に関連する内容について、口述試験により可否を判定する。
- 学位論文の評価は、本研究科の定める審査基準に基づき、3大学合同による学位審査委員会を設置して審査し、可否を判定する。

共同大学院について

1. 共同して教育課程を構成する大学院（共同大学院）とは

複数の大学が連携して教育研究資源を最大限に活用し、地域の活性化、多様で特色ある教育研究を推進するため、共同で教育課程を実施し、連名で学位授与を可能とする仕組みを利用した大学院です。

2. 本共同大学院の主な特徴

- (1) 北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学の連名による学位が授与されます。
- (2) 北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学の3大学に在籍することになりますが、主として研究指導を担当する専任教員（指導を受けることを希望する教員、以下「主指導教員」という。）が在籍する大学に本籍を置き、当該大学の他の学生と同様のサービスを受けることができます。また、「本籍を置かない」大学でも図書館利用などのサービスを受けることができます。ただし、一部、各大学の事情により利用できない施設等がある場合があります。
- (3) 本籍を置いた大学以外の構成大学の教員（副指導教員）からも研究指導が受けられる体制となっています。
- (4) 北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学の3大学で開講する、共同大学院の講義を受講することができます。

3. 出願大学、受験大学、本籍を置く大学について

- (1) 令和8年度入学試験の出願書類等の提出先及び入学者選抜試験会場は主指導教員が所属する大学となります。指導を受ける主指導教員が所属する大学が出願大学、受験大学となります。
- (2) 入学後に本籍を置く大学は、主指導教員が所属する大学となり、当該大学の学生として、入学手続、授業料等の納付、奨学金の申請等を行います。

4. 授業形態等について

授業形態等については、3大学合同ホームページをご確認ください。

入学者選抜を通じて取得した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜以外の目的に用いることはありません。ただし、個人を特定しない形で統計的な調査に使用場合があります。

目 次

1 分野及び募集人員.....	1
2 出願資格.....	1
3 出願手続.....	2
4 受験票の交付.....	5
5 入学者選抜方法.....	5
6 選抜試験会場.....	6
7 合格者の発表.....	6
8 入学手続	7
9 追加合格	8
10 長期履修学生制度	9
11 出願資格に関する事前審査	11
12 安全保障輸出管理について	12
13 その他	12
共同学校教育学授業担当教員一覧	14
選抜試験会場・交通案内	23

学生募集要項

1 分野及び募集人員

共同学校教育学専攻

分野	募集人員		
	北海道教育大学	大阪教育大学	福岡教育大学
臨床発達教育科学	4 名	4 名	4 名
臨床教科学			

(入学手続者数が募集人員に満たなかった場合、追加合格を行うことがあります。8 ページを参照してください。)

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 修士の学位や専門職学位（学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者（令和8年3月31日までに取得見込みの者を含む）
2. 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（令和8年3月31日までに取得見込みの者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（令和8年3月31日までに取得見込みの者を含む）
4. 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（令和8年3月31日までに取得見込みの者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（令和8年3月31日までに取得見込みの者を含む）
6. 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号参照）
7. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに24歳に達する者

* 出願資格6又は7により出願しようとする者は、11ページに記載する「11出願資格に関する事前審査」により、出願資格認定のための審査を受けなければならないので注意してください。

3 出願手続

(1) 出願書類 希望する主指導教員と、必ず事前に相談のうえ出願すること。

書類等		提出該当者	提出部数	摘要
①	入学願書	全員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。主指導教員の氏名を記入すること。P5 (7) 研究指導教員についての項目を参照すること。
②	修了（見込）証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身（在籍）大学長又は研究科長等が作成したものを提出すること。
③	成績証明書（修士課程又は専門職学位課程のもの）	修士課程又は専門職学位課程修了（見込）者	1 部	出身（在籍）大学長又は研究科長等が作成し、 <u>厳封したもの</u> を提出すること。
④	受験票，写真票	全員	各 1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑤	受験票送付用封筒	全員	1 部	市販の角型 2 号封筒に出願者の住所，氏名を記入し，返信用郵便切手（440 円分）を貼って提出すること。
⑥	宛名票	全員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑦	出願書類等提出明細票	全員	1 部	所定の用紙に必要事項を記載し提出すること。
⑧	修士論文等の写し	修士課程又は専門職学位課程修了者	2 部	所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。 また，日本語または英語で書かれたもの以外は，和訳を付すこと。なお，修士論文等とは，次の (1)～(3) のいずれかとする。 (1) 修士論文 (2) 修士論文作成以降，現在までに発表した論文 (3) 特定の課題についての研究（課題研究）の成果
⑨	修士論文等の進捗状況報告書	修士課程又は専門職学位課程修了見込者	2 部	A 4 判の用紙を使用し，修士論文等の進捗状況報告書（修士論文等の中間報告書）をまとめ，所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。また，最終ページに指導教員等による報告書の内容に対するコメントを記載者の職名・署名入りで付すこと。
⑩	修士の学位相当以上の論文の写し	出願資格 6 又は 7 により出願する者	2 部	修士の学位相当以上の論文とは，学術書や全国学会誌に掲載された査読付き学術論文をいう。所定の「修士論文等」を表紙として提出すること。また，日本語で書かれたもの以外は，和訳を付すこと。
⑪	修士論文等（修士論文等の進捗状況報告書，修士の学位相当以上の論文を含む。）の概要	全員	4 部	A 4 判の用紙を使用し，修士論文等（修士論文等の進捗状況報告書，修士の学位相当以上の論文を含む）の概要を和文で A 4 判の用紙 4 枚以内（（注）6 参照。図表を含む。英文の場合は A 4 判の用紙 4 枚以内）にまとめ，所定の「修士論文等の概要」を表紙として提出すること。
⑫	研究計画書	全員	4 部	本共同専攻において研究しようとする課題，3 年の在籍期間における研究の計画，研究の方法，この課題についての研究の現状，本人のこれまでの研究との関連等について和文で A 4 判の用紙 2 枚以内（（注）6 参照。）にまとめ，所定の「研究計画書」を表紙として提出すること。
⑬	研究業績一覧	全員	4 部	修士論文等を含め，本共同専攻において研究しようとする課題に関連のある本人の著書・論文・口頭発表・作品発表等の研究業績一覧を所定の用紙に記入し，これまでの研究の概要を和文で A 4 判の用紙 2 枚（（注）6 参照。）以内にまとめ，所定の「研究業績一覧」を表紙として提出すること。
⑭	承諾書	該当者	1 部	在職中の者で，現職のまま本共同専攻に入学しようとする者は，所定の「承諾書」を提出すること。（やむを得ない事情により「承諾書」の提出ができない場合は，その事情を記載した申立書（様式任意）を提出すること。）

⑮	長期履修申請書	長期履修学生制度志願者	1 部	志願先大学所定の様式に必要事項を記入すること。
⑯	送付票	全員	1 部	希望する主指導教員の所属大学のものを使用して必要事項を記入し、出願書類一式を市販の角型 2 号封筒に封入してその表面に貼り付けること。

【外国人留学生の場合の追加提出書類】

⑰	在留カード等	日本に在住する外国人	1 部	日本に在住する外国人は、次のいずれかの証明書を提出すること。 ア 在留カードの写し（在留資格・在留期間が確認できる箇所を含むこと） イ 入国査証の写し（記載事項のある全てのページ）
⑱	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生	1 部	在籍している大学発行の国費外国人留学生証明書を提出すること。

- (注) 1. 出願書類は日本語で記載してください。
2. 証明書等で外国語による記載のものについては、必ず和訳を添付してください。
3. 各証明書と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書を添付してください。
4. その他必要に応じて証明書等の追加提出を求める場合があります。
5. 修士論文等の提出書類について、複数枚の場合は部数ごとにホッチキスで綴じること。
6. 文字サイズは 10.5 ポイントとして、変更しないこと。

(2) 入学検定料

入学検定料 30,000 円（別途、入学検定料決済に係る手数料がかかります。手数料は、振込者にてご負担ください。） 4 ページ (3) 出願方法をご確認ください。

ただし、現在、北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学のいずれかの大学院（修士課程又は専門職学位課程）に在籍中であり、令和 8 年 3 月に修了見込である者は入学検定料を徴収しません。

また、出願者が自然災害等の被災者である場合、入学検定料の払い込みが免除される場合がありますので、出願大学に出願前に問い合わせてください。

国費外国人留学生は、入学検定料の納入は不要です。

払い込まれた検定料は、次の場合を除き、返還しません。

- (ア) 出願書類を提出しなかった場合
- (イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- (ウ) 出願書類が受理されなかった場合
- (エ) 出願大学と異なる大学の銀行口座に払い込んだ場合

* 検定料の返還請求方法

上記の（ア）～（エ）に該当する場合は、出願大学に問い合わせてください。

(3) 出願方法

出願者は、入学検定料を納入のうえ出願書類を一括して出願大学に郵送にて提出してください。封筒の表に「大学院共同学校教育学専攻出願書類在中」と朱書し、必ず書留速達郵便で送付してください。出願方法については各出願大学のホームページを併せてご確認ください。

入学検定料については令和7年11月7日（金）までに、以下の出願大学が指定したサイトにアクセスし、必要事項の入力及び入学検定料の支払い手続きを行ってください。

- ・ 北海道教育大学
<https://e-apply.jp/ds/hokkyodai-net/>
- ・ 大阪教育大学
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/kenteiryoku.html>
- ・ 福岡教育大学
<https://e-apply.jp/ds/fukuoka-edu/>

(4) 出願期間

令和7年10月27日（月）から11月7日（金）まで（消印有効）
（郵送に限る。）

(5) 出願書類等の送付先

北海道教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：
〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5
北海道教育大学入試課
TEL 011-778-0652

大阪教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：
〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
大阪教育大学入試課
TEL 072-978-3322

福岡教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：
〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
福岡教育大学入試課
TEL 0940-35-1235

(6) その他出願に際しての留意事項

- ア 出願書類提出後における記載事項の変更は一切認めません。
- イ 出願書類に不備があるときは、受理しないことがあります。
- ウ 受理した出願書類は返還しません。
- エ 身体に障害のある者で、受験に際して特別の配慮を必要とする者は、令和7年11月7日（金）までに出願大学に申し出てください。

(7) 研究指導教員について

本共同専攻の設置趣旨に基づいて、入学後に各学生に対し主指導教員及びその他の2大学から各1名の副指導教員を配置し、原則として3名の教員の指導の下で研究を行うことになります。

出願に際して、主指導教員として指導を受けることを希望する教員を本要項14ページから22ページの「共同学校教育学専攻専任教員一覧」に記載されている教員のうち、◎印を付してある「主指導教員となり得る教員」の中から選び該当の教員と必ず事前に相談のうえ提出してください。副指導教員については、入学後、主指導教員の指導の下に共同学校教育学専攻専任教員の中から決定します。

4 受験票の交付

受験票、受験案内は、令和7年11月17日（月）頃に郵送により発送します。

5 入学者選抜方法

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と筆記試験（外国語試験（英語）、小論文試験）、口述試験の結果を総合して行います。

口述試験は、受験大学において、対面またはオンラインにより行います。

(2) 選抜試験の日程

実施日	試験科目等	試験時間
令和7年12月7日（日）	外国語試験（英語） ＊	9：00～10：00
	小論文試験	10：30～12：00
	口述試験	13：30～

＊外国人留学生は外国語試験（英語）の代替として、外国語試験（日本語）を受験すること。

(3) 選抜試験の内容・配点

① 筆記試験

- ・外国語試験（英語）（配点：100点）

教育に関する分野を扱った英文で研究に必要な英語力を問います。（1冊に限り辞書（電子辞書を除く。）の使用を認めます。）

外国人留学生は外国語試験（英語）の代替として、外国語試験（日本語）を受験すること。

- ・小論文試験（配点：100点）

教育に関するテーマを出題します。

② 口述試験（配点：200点）

これまでの研究内容と入学後の研究計画等を中心に行います。

6 選抜試験会場

北海道教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：

〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学札幌校

TEL 011-778-0652（入試課）

大阪教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学柏原キャンパス

TEL 072-978-3322（入試課）

福岡教育大学に所属する主指導教員を希望する場合：

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学赤間キャンパス

TEL 0940-35-1235（入試課）

7 合格者の発表

日 時：令和7年12月19日（金）午前10時

発表方法：合格者の受験番号を北海道教育大学・大阪教育大学・福岡教育大学の3大学合同ホームページに掲載します。

3大学合同ホームページ <https://hof-schooledu.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/>

合格者には、合格通知書を通知します。

入学手続関係書類については合格発表と同時に通知します。

注）電話その他による可否の照会には一切応じません。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

(以下の日程は予定です。詳細は後日合格者に通知する入学手続関係書類で確認してください。)

日 時		場 所
北海道教育大学に本籍を置くことを許可された者	【郵送】 令和8年1月8日(木) 必着	北海道教育大学
大阪教育大学に本籍を置くことを許可された者	【郵送】 令和8年1月8日(木) 必着	大阪教育大学
福岡教育大学に本籍を置くことを許可された者	【郵送】 令和8年1月8日(木) 必着	福岡教育大学

3 大学とも、上記の期間内に入学手続をしなかった場合は、入学する意思がないものとして取り扱います。

(2) 納入金(入学料・授業料)

納入金については、合格者宛てに通知する「入学手続要項」にて案内します。入学手続の前に本籍を置く大学指定の方法にて納入してください。

入学料 282,000円《令和7年度実績額》

授業料前期分 267,900円《令和7年度実績額》

(授業料年額 535,800円)

なお、入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料を適用します。

以上の費用とは別に、各大学において入学時諸費用が必要となります。入学手続時にお知らせいたします。

国費外国人留学生は、入学料・授業料は不徴収となりますが、入学時諸費用は必要となります。

- (注) 1. 入学料、授業料等の学納金の納入方法については、合格者に通知する入学
手続要項において案内します。
2. 入学料は、入学手続までに必ず納入してください。
ただし、現在、北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学のいずれか
の大学院（修士課程又は専門職学位課程）に在籍中であり、令和8年3月
に修了見込である者は入学料を徴収しません。
3. 入学手続完了者が、令和8年3月31日までに入学を辞退しても、納入済の
入学料は返還しません。
4. 前期分授業料については、令和8年4月中に納入してください。
5. それぞれの大学において入学料免除・授業料免除等の規定があります。詳
細は、本籍を置く大学に問い合わせてください。
6. 現職教員や社会人のうち、家事、育児、介護等の事情により、標準修業年
限（3年）で修了することが困難な者を対象に、「長期履修制度」を設けて
います。詳細は、9ページをご覧ください。
- ・標準修業年限3年
 - ・長期履修の修業年限4～6年（授業料3年分）

9 追加合格

7ページの入学手続期間に入学手続を完了した者が募集人員に満たなかった場
合は、追加合格を行います。

合格通知は、令和8年1月9日（金）に電話により行います。

10 長期履修学生制度

<長期履修学生制度について>

通常、入学から修了までの修業年限は3年ですが、職業を有する等、勉学時間が十分確保できないなどの事情がある場合に、3年間で設定されている教育課程を4年・5年または6年に変更して履修する計画を立て、長期履修学生として許可を受け在籍する制度です。ただし、在学年限はいずれも6年間です（休学期間は除く）。

なお、この制度は、入学後に事情が変更となり、条件を満たした場合は、在籍の途中（修了予定年次の者は除く）からでも適用されます。

<対象・申請手続き>

職業を有する等の事情により、定められた修業年限（3年）では、大学院の教育課程の修業が困難な方が対象です。「職業を有する等の事情」とは、有職者（正規雇用、臨時雇用を問いません。）、家事、育児、介護などの事情により、いわゆるフルタイム学生としての修学が困難な事情にあることをいいます。

申請に際しては、3年の修業年限では教育課程の修業が困難である理由と長期の履修を踏まえた履修計画を記載した申請書をご提出いただく必要があります。

<受入可能人数>

特に定めない。

<授業料（年額）>

大学が定めた授業料年額 × 標準修業年限（3年）÷ 長期履修期間（4～6年）

なお、長期履修期間を超えて在学することとなった場合は、大学が定めた授業料年額が適用されます。

<申請方法>

「長期履修申請書」（志願先大学所定の様式を使用してください。）に必要事項を記入し、在職証明書、現に在職であることが確認できる書類（職業を有している場合）又は育児、介護等の事情を有することが確認できる書類を添付のうえ、本入学者選抜試験の出願書類と併せて提出してください。

<申請期間>

本入学者選抜試験の出願期間と同じ。

<長期履修学生の選考方法>

大学院の入学者選抜試験合格者の中から、申請書等により決定します。

なお、必要に応じて入学者選抜試験における口述試験の時間内に必要な事項を確認することがあります。

<許可者の発表>

本入学者選抜試験の合格発表とともにを行います。

また、許可者には、郵送により通知します。許可者の発表について、電話等による照会には、一切応じません。

なお、不許可の場合は、長期履修ではなく、標準修業年限（３年）で大学院を修了することとなります。

〈問い合わせ先〉

上記のほか、詳細等については、共同学校教育学専攻のホームページ、長期履修申請書及び申請書裏面の記入要領を確認のうえ、以下の問い合わせ先までお問い合わせください。



共同学校教育学専攻
ホームページ

北海道教育大学

教育研究支援部教育企画課大学院グループ

電話 ０１１－７７８－０３２０（受付時間：平日８：３０～１７：１５）

メールアドレス g-insien@j.hokkyodai.ac.jp

大阪教育大学

学務部教務課大学院室博士課程係

電話 ０７２－９７８－５７８５（受付時間：平日９：００～１７：００）

メールアドレス hakase@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

福岡教育大学

教育支援課大学院室

電話 ０９４０－３５－１４１１（受付時間：平日８：３０～１７：００）

メールアドレス utef-cdc-office@fukuoka-edu.ac.jp

11 出願資格に関する事前審査

「2 出願資格」（本要項1 ページに記載）のうち、6 及び7のいずれかによって出願しようとする者は、出願書類を提出する前に、下記に記載する出願資格認定審査を受けなければなりません。

【出願資格認定審査申請・審査方法等】

(1) 提出書類

- ①入学試験出願資格認定申請書 所定の用紙によること。
- ②履歴書（出願資格認定審査用） 所定の用紙によること。
- ③卒業証明書 出身大学の学長が作成したものを提出すること。
- ④成績証明書 出身大学の学長又は学部長が作成し厳封したものを提出すること。
- ⑤研究歴申立書（出願資格認定審査用） 所定の用紙によること。
- ⑥研究業績書（出願資格認定審査用） 所定の用紙を表紙に用いること。修士の学位相当以上の論文の別刷又は研究の成果（写し）を添付すること。
- ⑦学力等についての説明書（出願資格認定審査用） 所定の用紙によること。

なお、必要に応じて各種証明書等の追加提出を求めることがあります。

※上記1 部ずつ提出すること。提出書類に不明な点がある場合は下記(2)イ提出先まで問い合わせること。

(2) 提出方法

提出方法は、封筒の表に「大学院共同学校教育学専攻出願資格認定審査申請書類在中」と朱書してください。「書留」による郵送のみとします。

ア 提出期限：令和7年10月6日（月）（必着）

イ 提出先：出願予定の大学へ提出してください。

〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5

北海道教育大学入試課

TEL 011-778-0652

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大阪教育大学入試課

TEL 072-978-3322

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

福岡教育大学入試課

TEL 0940-35-1235

(3) 審査方法

提出書類による書面審査を行い、必要な場合は口述試問による審査を行います。

(4) 口述試問

口述試問は、選択する分野に関連する事項について質疑応答を行います。なお、口述試問を実施する必要がある場合は、場所・日程等について、申請者に個別に通知します。

(5) 審査結果の通知

審査の結果は、出願受付開始日までに申請者に通知します。

1 2 安全保障輸出管理について

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/englishpage.html>

【北海道教育大学】

北海道教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「北海道教育大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので注意してください。

【参考】「北海道教育大学安全保障輸出管理規則」北海道教育大学ホームページ

<https://education.joureikun.jp/hokkyodai/act/content/content110000530.htm>

【大阪教育大学】

大阪教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「大阪教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので注意してください。

【参考】「大阪教育大学安全保障輸出管理規程」大阪教育大学ホームページ

<https://goose.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/doc/public/rule/868.html>

【福岡教育大学】

福岡教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「福岡教育大学における安全保障輸出管理に関する要綱」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので注意してください。

【参考】「福岡教育大学における安全保障輸出管理について（重要通知）」福岡教育大学ホームページ

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/about/efforts/glb0i0000000109p-att/anzenyushutukanrinituite.pdf>

1 3 その他

(1) 学位 博士（教育学）

(2) 主とする修学場所

北海道教育大学 札幌，旭川，釧路，函館，岩見沢 各キャンパス

大阪教育大学 天王寺キャンパス

福岡教育大学 赤間キャンパス

以上に掲載する各大学のキャンパスに加え，基本的に全ての科目をオンラインで受講できるよう（※），インターネットを利用した仮想キャンパスを3大学共同で設置しています。この仮想キャンパスにアクセスいただくことで，ご自宅等を修学場所としていただくことができます。

※研究指導や実習を伴う科目の履修等はオンラインのみでは難しい場合があります。

共同学校教育学専攻授業担当教員一覧

◎主指導教員となり得る教員

○副指導教員となり得る教員

<北海道教育大学>

教員名	職名	研究分野	研究指導テーマ	担当授業科目
◎川前 あゆみ	教授	へき地・小規模校教育、教員養成教育、教師教育	へき地・小規模校教育に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅱ ・地域教育課題研究
◎杉本 任士	教授	行動分析学、PBS、学級経営、学校経営	行動分析学の方法論を用いた学校、学年・学級経営の改善に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅱ ・学校コミュニティ支援研究
◎片桐 正敏	教授	特別支援教育、認知神経科学、発達臨床心理学、心理アセスメント、障害児者心理学	発達障害のある人、ギフテッドなど特別な教育的ニーズを持つ子どもに対して、基礎研究（認知神経科学）及び心理アセスメントから臨床発達支援に結びつける研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・人間発達支援研究Ⅰ ・特別支援教育研究
◎姫野 完治	教授	教師教育学、教育工学、教育方法学	教師の発達過程の解明とそれに基づく養成・研修方法、授業研究法の開発に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・教員養成学開発論 ・教員キャリア・研修マネジメント研究
◎木村 育恵	教授	教育社会学	教育社会学、特に教員育成政策及び教員のキャリア形成、教員世界におけるジェンダーに関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教育臨床参画研究Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅱ
◎小林 淳一	教授	教員養成、教師教育、学校教育学、質的調査法	教員養成・教職志望者・教師の資質能力に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教員養成学開発論 ・教員養成学臨床研究 ・教育方法学研究
◎半澤 礼之	教授	教育心理学、教育工学、高等教育	教育心理学、特に青年期・成人期のキャリア形成に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅱ ・キャリア支援研究
◎齋藤 暢一朗	准教授	臨床心理学一般、アセスメント、心理学的介入、コミュニティ	不登校・ひきこもり支援、虐待やいじめ等のトラウマケアを含む学校メンタルヘルスに関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・人間発達支援研究Ⅱ
◎水野 君平	准教授	教育心理学	思春期における教育心理学（いじめ、学校適応、友人グループ、学	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ

			級風土、子どものメンタルヘルスなど) に関する研究	・人間発達理解研究
◎神林 勲	教授	スポーツ科学、応用健康科学、身体教育学、教科教育学、栄養学	子どもの健康及び体力・運動能力に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎笠原 究	教授	英語教育学、意図的語彙学習、コロケーション、テストニング	第二言語語彙習得に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床英語科教育研究 ・臨床英語科教材開発研究 ・臨床英語科内容学研究
◎藤川 聡	教授	教科教育学、教育方法学	教育方法、評価、特に技術科の教材開発と指導と評価の在り方、達成動機付けの原因帰属と教訓帰納に基づく認知カウンセリングに関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床技術科教育研究 ・臨床技術科教材開発研究 ・臨床技術科内容学研究
◎尾関 俊浩	教授	自然災害科学・防災学、雪氷学、気象・海洋物理・陸水学、教科教育学、教材開発	雪氷物理学に関する研究、特に雪害科学に関する研究や、雪崩ユース教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床理科教材開発研究 ・臨床理科内容学研究
◎大橋 賢一	教授	唐代文学、六朝文学、漢字漢文教育	漢字漢文教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床国語科教材開発研究 ・臨床国語科内容学研究
◎李 知恩	教授	デザイン、感性評価、鑑賞、タイポグラフィ	美術、特にデザイン、美術鑑賞、感性評価に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床美術科教育研究 ・臨床美術科教材開発研究 ・臨床美術科内容学研究
◎板谷 厚	教授	教科教育学、身体教育学、応用健康科学、スポーツ科学、子ども学	運動の発達と学習の過程の解明、及びそれに基づく運動指導に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎中島 寿宏	教授	体育科教育、教師教育、学習指導、ICTの活用、教育心理学	保健体育科教育学、教育心理学、特に体育・保健体育における教師と児童生徒のコミュニケーションにおける心理的作用に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教育研究 ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎森田 憲輝	教授	身体発育発達学、スポーツ生理学、スポーツ生化学、心身の健康、生活習慣病	子どもの学力・認知機能と体力・体格との関係に関する研究（認知科学・生理学・疫学的研究）	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究

◎津田 拓郎	教授	王国集会、教会会議、カロリング朝、フランク王国、カピトゥラリア	外国史、特に西洋中世史や中世グローバル・ヒストリーに関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床社会科教材開発研究 ・臨床社会科内容学研究
◎小山 耕平	准教授	植物生態学、森林生態学、生理生態学	理科教育、特に植物生態学と森林生態学及び生物野外計測に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床理科教材開発研究 ・臨床理科内容学研究
○幸坂 健太郎	准教授	教育学、教科教育学	国語科教育の授業方法、論理的思考力育成に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床国語科教育研究 ・臨床国語科教材開発研究 ・臨床国語科内容学研究
○大滝 孝治	准教授	数学教育学、初等中等教育学、探究、確率、授業研究	教授人間学理論（ATD）に基づく学校数学教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床数学科教育研究 ・臨床数学科教材開発研究 ・臨床数学科内容学研究

※職名は、令和 7 年 4 月 1 日現在の職名を示す。

<大阪教育大学>

教員名	職名	研究分野	研究指導テーマ	担当授業科目
◎水野 治久	教授	学校心理学、教育心理学、コミュニティ心理学	不登校児童生徒の支援、いじめ被害児童生徒の支援方法及び予防方法、子ども・保護者・教師の援助要請の視点からのチーム学校のあり方に関する研究、学校コミュニティの支援に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教育臨床参画研究Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅱ ・人間発達支援研究Ⅰ
◎大内田 裕	教授	リハビリテーション医学、発達障害、運動・感覚機能障害、高次脳機能ー運動機能連関	認知・運動機能障害に対して脳科学の知見を利用した機能改善手法の開発に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・特別支援教育研究
◎後藤 健介	教授	安全教育学、自然災害科学、公衆衛生学、防災教育、環境教育	安全教育学、特に自然災害科学、公衆衛生学、防災教育、環境教育に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校安全研究
◎高橋 登	特任教授	発達心理学、教育心理学、子どもの読み書きの発達、子どもの文化的発達	発達心理学、教育心理学、特に子どもの読み書きの発達とつまづきの支援、子どもの文化的発達に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・地域教育課題研究 ・人間発達支援研究Ⅱ
◎寺嶋 浩介	教授	教師教育、教育方法、教員研修、メディア教育、ICT活用、情報教育	教育工学、特に教師教育、教育方法、教員研修、メディア教育、ICT活用、情報教育に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅱ ・教育DX研究 ・臨床情報科教育研究 ・臨床情報科教材開発研究 ・臨床情報科内容学研究
◎小松 孝至	教授	発達心理学、教育心理学、幼児期、児童期、社会的発達	発達心理学、教育心理学、特に幼児期、児童期の社会的発達（コミュニケーション、自己の発達）に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・人間発達支援研究Ⅱ
◎仲矢 史雄	教授	教育評価方法、科学技術コミュニケーション、動物生理学、ICT	科学教育、生物科学、特に科学技術コミュニケーション、教育評価方法、ICT・AI活用に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ
◎豊沢 純子	教授	教育心理学、社会心理学、安全教育、防災教育	教育心理学、社会心理学、特に防災教育、防犯教育に関する心理学研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校安全研究 ・学校コミュニティ支援研究
◎平賀 健太郎	教授	特別支援教育、病弱教育、病弱児、院内学級、イ	特別支援教育、特に病弱教育、病弱児、院内学級、復学支援に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・特別支援教育研究

		ンクルーシブ教育		
◎吉田 茂孝	教授	教育方法学、授業研究、インクルーシブ教育	教育方法学・インクルーシブ教育、特に授業づくり、学級づくり、教授学、学習集団、教育実践に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・学校教育学原論Ⅱ ・地域教育課題研究 ・教育方法学研究
◎田中 真秀	准教授	教育経営、教育行財政学、教師教育、教育制度、学校教育	教育学、特に学校経営（チーム学校、学校財務）、教育行財政学、教師教育、教育制度、学校教育（コミュニティスクール：家庭・地域との連携）に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教員キャリア・研修マネジメント研究
◎寺坂 明子	准教授	臨床心理学、学校心理学、学級経営、子どもの情動とその表出	臨床心理学、学校心理学、特に予防的心理教育、問題行動を起こりにくくする学級経営法に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校コミュニティ支援研究
◎庭山 和貴	准教授	教育心理学、特別支援教育、応用行動分析学、ポジティブ行動支援	学校規模ポジティブ行動支援、応用行動分析学に基づく発達障害のある児童生徒への支援に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教育データサイエンス研究
◎八田 幸恵	准教授	カリキュラム開発、カリキュラム評価、教育評価、省察	カリキュラム論、教育評価論、教師の力量形成論に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教員養成学開発論 ・教員養成学臨床研究 ・教育方法学研究
◎森 兼隆	准教授	認知心理学、教育心理学、ワーキングメモリ、意味記憶	認知心理学、教育心理学、特に学習活動の認知過程の理解、効果的な学習支援、意味学習・深い学びに関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・学校教育学原論Ⅱ ・人間発達理解研究 ・学習認知研究
◎渡邊 創太	准教授	認知科学、教育心理学、実験心理学	認知科学・学習心理学の応用（特に学習指導、教師自身の認知）に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教育臨床参画研究Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅱ ・人間発達理解研究 ・学習認知研究
安松 健	特任准教授	経営科学、AI開発		・教育DX研究
◎碓田 智子	教授	住環境学、住生活学、住まい・まちづくり学習	生活科学、特に住環境学、住生活学、住宅計画。住まい・まちづくり学習に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床家庭科教育研究 ・臨床家庭科教材開発研究

				・臨床家庭科内容学研究
◎鈴木 剛	教授	植物分子遺伝学・植物育種学・染色体工学	生物学、特に植物分子遺伝学・植物育種学・染色体工学に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・教育 DX 研究 ・臨床理科内容学研究
◎町頭 義朗	教授	リーマン幾何学、離散幾何学、微分可能多様体	幾何学、特にリーマン幾何学、離散幾何学、微分可能多様体に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床数学科教育研究 ・臨床数学科教材開発研究 ・臨床数学科内容学研究
◎三島 和宏	教授	情報基盤システム、インターネットアーキテクチャ、情報教育、ICT 活用	情報工学、特に情報システム、通信ネットワーク技術に基づく、情報教育、ICT 活用に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・教育 DX 研究 ・臨床情報科教育研究 ・臨床情報科教材開発研究 ・臨床情報科内容学研究
◎峯 明秀	教授	教育学、教科教育学、社会科教育	教育学、教科教育学、教育方法及び社会科教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・教員養成学開発論 ・教員養成学臨床研究 ・臨床社会科教育研究 ・臨床社会科教材開発研究 ・臨床社会科内容学研究
◎吉本 直弘	教授	科学教育、教科教育（地学教育・理科教育）、気象学、防災教育	科学教育、教科教育（地学教育・理科教育）、気象学、防災教育の視点を用いた、理科教育学に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床理科教育研究 ・臨床理科教材開発研究 ・臨床理科内容学研究
◎石川 美久	准教授	スポーツ科学、コーチング、武道、柔道、安全教育	スポーツ科学、特にコーチング、武道、柔道、安全教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教育研究 ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎兼平 佳枝	准教授	コミュニケーション、意味の共有、共感、協同、音楽的思考	コミュニケーション、共感、音楽的思考等を視点とした音楽教育実践学に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床音楽科教育研究 ・臨床音楽科教材開発研究 ・臨床音楽科内容学研究
◎橋本 健一	准教授	第二言語習得、心理言語学、英語教育	第二言語習得、心理言語学の視点に基づく英語教育学に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・学校教育学原論Ⅱ ・臨床英語科教育研究 ・臨床英語科教材開発研究 ・臨床英語科内容学研究
◎林 洋輔	准教授	体育（PE、Taiiku）、スポーツの価値、体育	メタ体育学、体育・スポーツ哲学、哲学の方法・視点を用いた保健体育学研究、単元「体	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教育研究

		(学) の Well-Being、 生き方として の哲学、文化 哲学、体育の 読書教育、エ クササイズ	育理論」の諸問題に関 する研究	・臨床保健体育科教材開発研 究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎渡邊 美香	准 教 授	教科教育学 (図画工作 科・美術 科)、美術教 育、映像表現	子どもの表現・鑑賞、 図画工作科・美術科の 教科教育学に関する研 究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床美術科教育研究 ・臨床美術科教材開発研究 ・臨床美術科内容学研究

※職名は、令和 7 年 4 月 1 日現在の職名を示す。

< 福岡教育大学 >

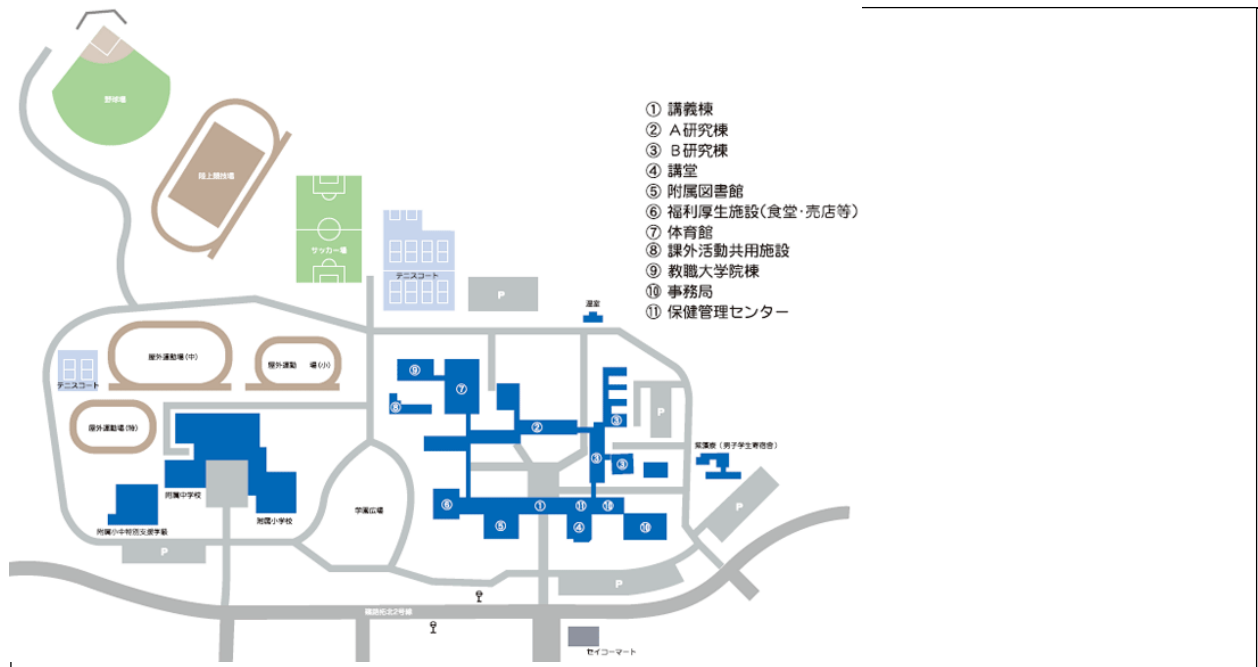
教員名	職名	研究分野	研究指導テーマ	担当授業科目
○坂井 清隆	教授	教育方法学、教科教育（社会科教育）、質的な授業研究、シティズンシップ教育、学習のための評価論	授業実践（単元展開及び授業展開）における学習者の認知・非認知の変容を、質的アプローチ（授業分析、様相－解釈的分析など）を用いて明らかにし、個々の学習者理解を深めつつ、個に応じた学習指導の方法と自律的な学習を促す評価に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅰ ・教育臨床参画研究Ⅱ ・臨床社会科教育研究 ・臨床社会科教材開発研究 ・臨床社会科内容学研究
◎西山 久子	教授	学校教育学、学校心理学、発達、キャリア教育、進路キャリア形成、教育相談体制づくり	校内適応指導教室利用生徒のキャリア発達の促進に関する研究、中等教育における一次支援としてのキャリアカウンセリングの展開に関する研究、教育相談コーディネーターの専門的力の形成に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・人間発達理解研究 ・人間発達支援研究Ⅰ ・人間発達支援研究Ⅱ ・キャリア支援研究
◎相澤 宏充	教授	聴覚障害学、言語、発達	聴覚障害児に関する研究、特に、学齢期の言語の発達の遅れ、その教育に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・人間発達理解研究 ・人間発達支援研究Ⅱ
◎見上 昌睦	教授	特別支援教育、言語障害児教育、通級による指導、吃音、言語聴覚療法	言語障害のある子どもの教育的支援に関する研究（学校教育期を中心にライフステージを通しての指導・支援、通常の学級における支援、保護者支援、他職種連携）、吃音・流暢性障害に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・地域教育課題研究 ・人間発達支援研究Ⅰ ・特別支援教育研究
◎一木 薫	教授	特別支援教育、肢体不自由教育、自立活動、教師研究、カリキュラム評価	自立活動の理論、特別支援教育における教師の専門性、特別支援学校のカリキュラム評価に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・地域教育課題研究 ・特別支援教育研究
◎川口 俊明	准教授	教育社会学、教育の不平等、学力格差、学校の効果、学力調査	学力調査をはじめとする各種の調査（質問調査等の計量的分析はもちろん、インタビュー・参与観察等の質的調査も含む）を利用し、教育の不平等の実態把握及びその改善策を明らかにする研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・学校教育学原論Ⅱ
兼安 章子	准教授	教師教育、初等中等教育、教科教育（家庭科教育）	教師の人的ネットワークや紐帯形成に関する研究、教師の職能成長に関する研究、教師の	・教員養成学開発論 ・教員養成学臨床研究

			授業力形成に関する研究	
◎山田 洋平	准教授	教育心理学、学校心理学、心理学的介入	1 次的援助サービスにおける社会性と情動の学習を中心とした心理学的介入に関する研究	・発達教育科学特別研究Ⅰ ・発達教育科学特別研究Ⅱ ・発達教育科学特別研究Ⅲ ・地域教育課題研究 ・人間発達理解研究 ・人間発達支援研究Ⅰ ・人間発達支援研究Ⅱ
◎青山 之典	教授	教科教育学（国語科教育）	テキスト研究、学習者研究に焦点をあてた読解指導論構築に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床国語科教育研究 ・臨床国語科教材開発研究 ・臨床国語科内容学研究
◎本多 壮太郎	教授	教科教育（体育科教育学）、知識の構造化、反転授業	知識の構造化とその活用を図る体育科・保健体育科学習指導に関する研究、反転授業を取り入れた体育科・保健体育科学習指導に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床保健体育科教育研究 ・臨床保健体育科教材開発研究 ・臨床保健体育科内容学研究
◎大内 毅	教授	科学教育、木質科学、教科教育学（技術科教育）	科学教育、特に初等・中等教育における科学的・工学的アプローチを基軸とした STEAM 型ものづくり探究プログラムの開発に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床技術科教育研究 ・臨床技術科教材開発研究 ・臨床技術科内容学研究
◎貴志 倫子	教授	教科教育学（家庭科教育）、教師教育、授業研究、家政・生活学一般	責任ある生活者育成のための初等中等家庭科のカリキュラム、授業研究、学習指導、教師教育に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床家庭科教育研究 ・臨床家庭科教材開発研究 ・臨床家庭科内容学研究
◎有元 康一	教授	教科教育学（算数・数学科教育）、課題学習、数学的活動、教材開発、整数論、離散数学	数学科教育学及び代数学・数学基礎に関する研究、特に、算数・数学科における学習指導、教材開発、またその背景となる、数論、離散数学、計算機数学、数学史に関する研究	・教科学特別研究Ⅰ ・教科学特別研究Ⅱ ・教科学特別研究Ⅲ ・臨床数学科教育研究 ・臨床数学科教材開発研究 ・臨床数学科内容学研究
甲斐 初美	准教授	教科教育学（理科）、自然認識、学習論、教授論、授業論、動機づけ	子どもの概念構築過程に影響を与える認知的・情意的要因の分析に基づく、小・中学校の具体的な理科の学習内容の最適化及び理科授業への適用に関する研究	・臨床理科教育研究

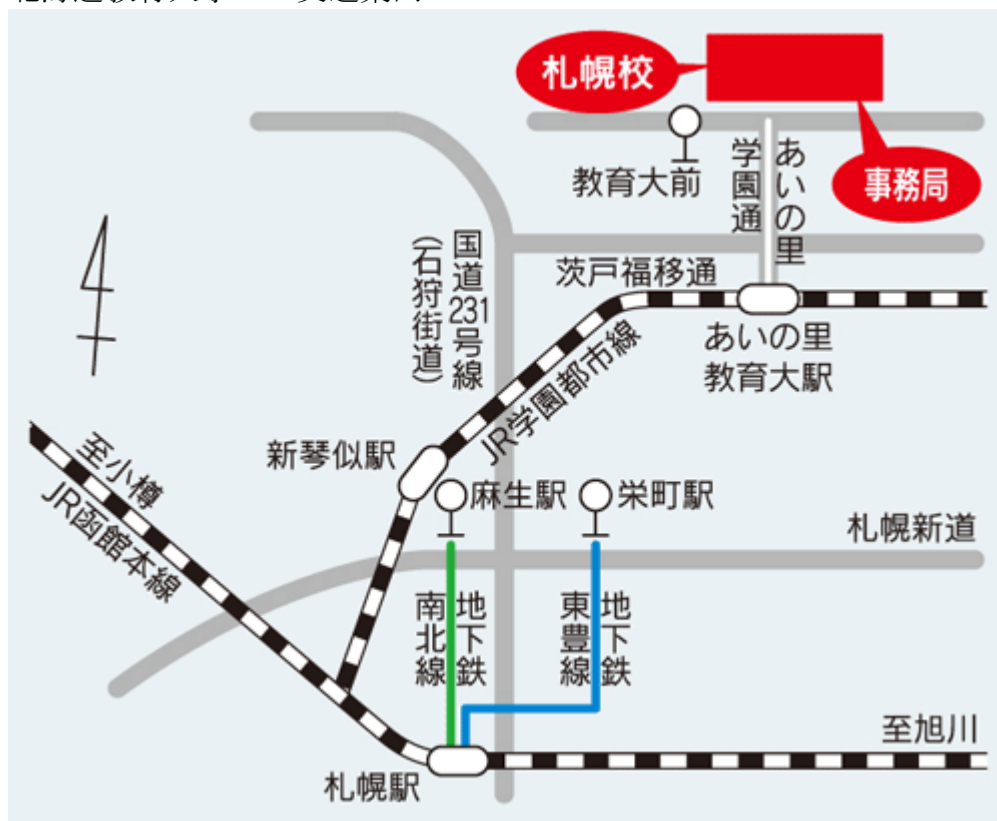
※職名は、令和 7 年 4 月 1 日現在の職名を示す。

選抜試験会場・交通案内

北海道教育大学周辺MAP

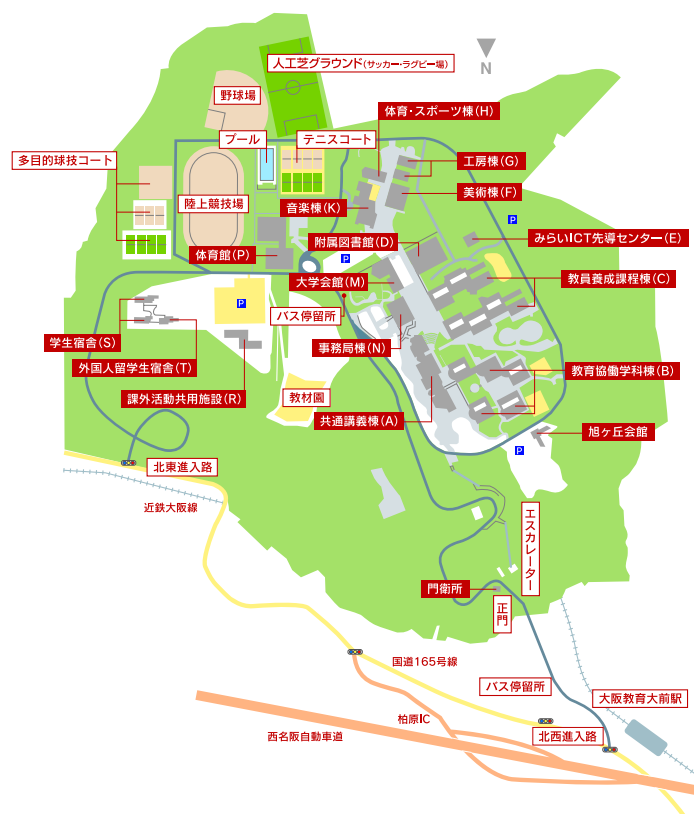


北海道教育大学への交通案内



〒002-8502 北海道札幌市北区あいの里5条3丁目1-5
 北海道教育大学札幌校
 TEL 011-778-0652 (入試課)

大阪教育大学周辺MAP



大阪教育大学への交通案内

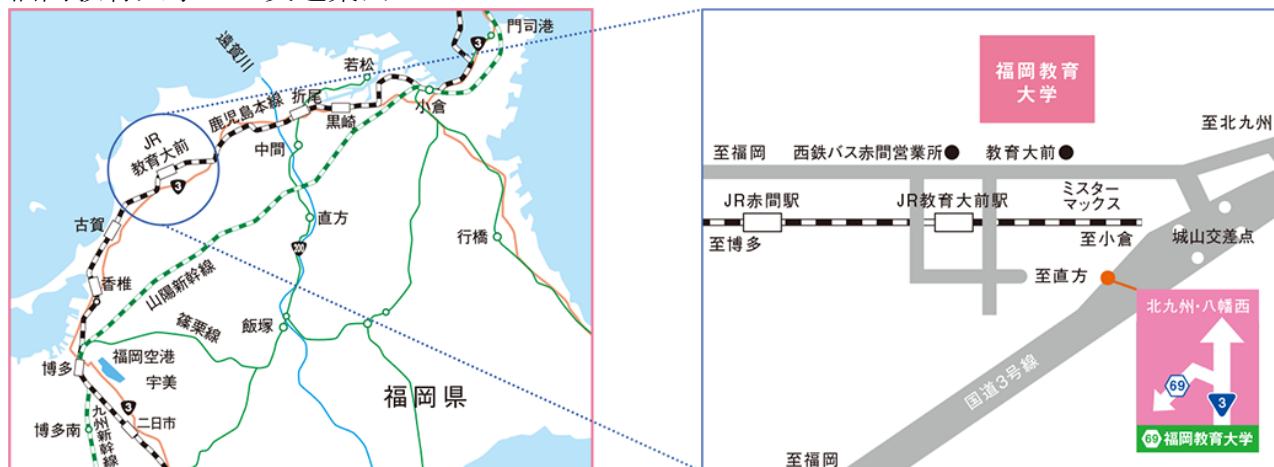
JR 大阪	JR大阪環状線外回り (約15分)	JR・近鉄 鶴橋	近鉄大阪線急行 (約16分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線 準急・区間準急 (約2分)	近鉄大阪 教育大前	徒歩 (約15分)
JR 天王寺	JR大阪環状線内回り (約6分)		近鉄大阪線準急・区間準急 (約30分)				近鉄バス (約5分)
近鉄 大阪難波	近鉄奈良線 (約6分)						
阪神 神戸三宮	阪神なんば線快速急行 近鉄奈良線(約50分)						
近鉄 大阪上本町	近鉄大阪線急行 (約18分)	近鉄 布施	近鉄大阪線準急・区間準急 (約30分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線 準急・区間準急 (約2分)		
近鉄 奈良	近鉄奈良線急行 大阪難波行(約32分)		近鉄大阪線急行 (約12分)	近鉄 河内国分	近鉄大阪線 準急・区間準急 (約2分)		
近鉄 京都	近鉄特急 (約45分)	近鉄 大和八木	近鉄大阪線準急・区間準急 (約30分)				
近鉄 名古屋	近鉄特急 (約1時間50分)		近鉄大阪線準急・区間準急 (約25分)				

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
大阪教育大学柏原キャンパス
TEL 072-978-3322 (入試課)

福岡教育大学周辺MAP



福岡教育大学への交通案内



〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1
 福岡教育大学
 TEL 0940-35-1235 (入試課)